

令和 8 年 6 月

保護者の皆様

京都市教育委員会
京都市学校歴史博物館
(担当:事業課 075-344-1305 林・千秋)

京都市学校歴史博物館 令和 8 年度企画展 「奥深き「学校博物館」の世界」の開催について

この度、「学校博物館」(「郷土資料室」等の名称で、学校や地域関連事業の保管・展示・学習などを行う学校敷地内にある施設のこと)の歴史や全国の館の活動や現状を、それらの館が所蔵する資料などを展示する形で紹介する企画展を、下記の通り開催しますのでお知らせします。

記

1 開催期間 令和 8 年 6 月 27 日(土)～令和 8 年 9 月 27 日(日)

前期 6 月 27 日(土)～8 月 17 日(月)

後期 8 月 21 日(金)～9 月 27 日(日)

(8 月 18 日(火)から 20 日(木)は展示替期間につき
常設展のみの展示となります)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:水曜日(祝日の場合は翌平日)

2 内 容

みなさんの通った学校に、「郷土資料室」などと名付けられた、昔の生活道具や美術工芸品などが集められている部屋がありませんでしたか？

実を言うとこの部屋、近年「学校博物館」として見直しが進められていて、しかもかつては、日本全体の博物館のうちのなんと約 4 割を占めた、歴史的にもとても重要な施設でした。また、時代が令和へと移り変わった現在でも、全国や世界には大変ユニークな学校博物館が多数存在していて、この場所で地域の人たちが児童と交流するなど、地域と学校の絆を深める大切な空間になっている学校博物館もあるのです。

そんな注目すべき学校博物館の歴史や現状、そしてその奥深き魅力の数々を紹介するのが、本企画展「奥深き「学校博物館」の世界」です。

3 会 場 京都市学校歴史博物館 企画展示室(1階第2展示室・3階第3展示室)

(京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437 TEL:075-344-1305)

4 入 館 料 大人400円、子ども(小・中・高)150円

※ 団体(20名以上)は2割引。

※ 京都市内の小・中学生は土・日は無料です。

※ 8 月 18 日(火)から 20 日(木)は常設展のみのため大人 300 円

企画展 **奥深き**

あなたの通った学校に
「郷土資料室」はありましたか？

「学校博物館」 の世界

全国の学校博物館も
紹介するよ！



馬形埴輪模型 桃菌校 年代不詳

令和8(2026)年

6月27日(土)

~9月27日(日)

前期 6月27日~8月17日

後期 8月21日~9月27日



開館時間 **9時-17時**

(入館は**16時30分**まで)

休館日 **水曜日(祝日の場合は翌平日)**

入館料 大人400(320)円
小・中・高生150(120)円
※()は20名以上の団体料金
※京都市内の小・中学生は土曜日・日曜日入館無料



京都市学校歴史博物館

Kyoto Municipal Museum of School History



紹介を予定している学校博物館の一例 (各期五十音順。予定の変更によって別の期に取り上げること、及び紹介を取りやめることもありますので、ご了承ください。)

〔前期〕

- ・翔鸞小学校郷土室(京都市)
- ・伏見板橋小学校郷土資料室「いたはしくら」(京都市)
- ・間門小学校附属水族館(まかどシーマリンパーク)(横浜市)
- ・泰阜小学校泰阜村立学校美術館(長野県泰阜村)

など

〔後期〕

- ・岩倉北小学校「岩倉ふるさと館」(京都市)
- ・光明小学校「郷土・本田資料室」(浜松市)
- ・正親小学校正親歴史資料館「追憶の部屋」(京都市)
- ・博労小学校ぱくろう思い出館(高岡市)

など

ここに取り上げたのは展示で紹介するほんの一部です。企画展ではさらに数多くの学校博物館が登場します

関連イベント

○シンポジウム

学校資料の活用を考えるⅢ
— 学校博物館・デジタル化 —

日程：8月1日(土)～8月2日(日)

会場：当館 2階 講堂

参加費：無料

定員：100名(要予約・先着順)

①イベント名、②参加代表者氏名(ふりがな)、
③代表者の電話番号、④参加希望人数(4名まで)を明記のうえ、電話・FAX・Eメールのいずれかでお申込みください。

詳細は



電話 075-344-1305

FAX 075-344-1327

Eメール rekihaku-jigyoku@edu.city.kyoto.jp



兵士埴輪模型
桃園校 年代不詳



方位磁針
稚松校 年代不詳

みなさんの通った学校に、「郷土資料室」などと名付けられた、昔の生活道具や美術工芸品などが集められている部屋がありませんでしたか？
実を言うとこの部屋、近年「学校博物館」として見直しが進められていて、しかもかつては、日本全体の博物館のうちのなんと約4割を占めた、歴史的にもとても重要な施設でした。また、時代が令和へと移り変わった現在でも、全国や世界には大変ユニークな学校博物館が多数存在していて、この場所で地域の人たちが児童と交流するなど、地域と学校の絆を深める大切な空間になっている学校博物館もあるのです。
そんな注目すべき学校博物館の歴史や現状、そしてその奥深き魅力の数々を紹介するのが、本企画展「奥深き「学校博物館」の世界」です。

企画展 **奥深き**
「学校博物館」
の世界



当館内「開智資料室」
(3Dイメージ)



風俗人形(平安時代)
年代不詳

文部省著作教科書『中学三年生用
社会科13 文化遺産』(勝田守一執筆)
昭和24(1949)年



洗濯板 格致校
年代不詳

- 阪急…京都河原町駅 徒歩約10分 10番出口「藤井大丸口」から南西へ
- 京阪…祇園四条駅 徒歩約15分 3番出口から南西へ
- 地下鉄…烏丸線四条駅 徒歩約12分 5番出口から東へ
- 市バス…四条河原町 徒歩約10分 南西へ
- 市バス…河原町松原 徒歩約5分 北西へ

駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。



※正門(御幸町通側)からお入りください



京都市学校歴史博物館
Kyoto Municipal Museum of School History



〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437 TEL.075-344-1305

9時～17時(入館は16時30分まで) ※水曜休館

●この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収へ

学校歴史博物館 Q

